

川鉄テクノワイヤにおける PC 鋼棒“リバーボン”^{*1}

武井 雅光^{*2}

Prestressing Steel Bar “Riverbon”

Masamitsu Takei

1 はじめに

プレストレストコンクリートに使用される PC 鋼棒の昨年の国内使用量は、主としてプレテンション方式で杭などに使用される異形棒で 14 万 t、主としてポストテンション方式で使われる丸棒で 2 万 t である。PC 鋼棒の JIS は、1971 年に制定されたが、表示品目で

$$\sigma_{es} = \frac{A_p}{A_o} \sigma_{pi} (1 - \Delta\sigma'_p - \Delta\sigma'_r - \Delta\sigma'_a) \dots\dots\dots (2)$$

$\Delta\sigma'_p$: $\Delta\sigma_p$ を比率にしたもの

$\Delta\sigma'_r$: $\Delta\sigma_r$ を比率にしたもの

$\Delta\sigma'_a$: コンクリートの弾性変形ロスを比率にしたもの

Table 1 Items specified for PC bar used for PC pile

ては、初期張力を高くすることができ、かつリラクセーションロスが少ないことが求められる。

2.2 PC 鋼棒に要求される特性

PC 鋼棒に要求される特性を、2.1 で述べたことを含めて材料として基本的に必要とされる特性と、お客様での加工時に要求される

3 リバーボンの特長

3.1 リバーボンの概要

リバーボンの外観形状の一例（端末を圧造および転造加工したものを Photo 1 に示す。

リバーボンは、その高温リラクセーション値により、ノーマ

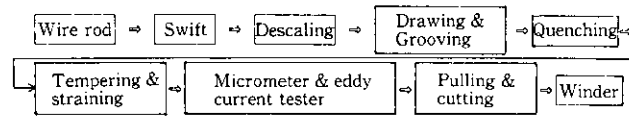


Fig. 2 Manufacturing process of Riverbon



Table 4 Test result of delayed fracture

The table content is almost entirely obscured by heavy black redaction bars. Only a few faint characters, such as '1', are visible in the left margin area.